

事業報告書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

1. 事業の概要

令和6年度は、大気、水質、土壌および塗膜等の生活・産業活動に係る環境物質を中心に環境測定分析、環境測定調査および調査研究等を受託した。

主として、大気関係では、ばい煙、水銀等の測定調査、また、水質・含有関係では塗膜、凍結防止剤、P C B、排水等の測定分析、さらに、建物関係ではアスベストなどの測定分析および調査を受託した。特に、アスベストおよび塗膜の受託が、昨年同様に、高い水準を維持した。

また、相談・技術向上事業、調査研究事業、講習・研修および検査事業についても、計画どおり実施した。

以上の結果、事業収入で予算額を確保し、委託費などの経費節減効果もあり、当期収支差額はプラスを計上することができた。

2. 事業実績

2.1 環境測定分析等事業

(1) 概要

令和6年度も例年同様、大気、水質、土壌及び産業廃棄物などの環境計量証明事業や環境測定分析事業の受託により、約1億64百万円の事業収入となり、当初予算より約14百万円増額した。

(2) 受託額の特徴

①受託先

受託先の構成では、民間企業が79.2%、官公庁が11.4%、団体が9.4%を占め、昨年と比べ、民間企業の比率が大きく増加し、団体の比率が減少している。官公庁の比率は少しの増加であった。

②分類別

受託する検体の分類では、大気関係が16.4%、水質関係が48.8%を占め、水質関係が高い比率になっている。アスベストなど建物関係が33.6%と昨年度よりも、高い比率を占めている。

③環境測定分析・環境測定調査別

受託額全体について、当財団へ直接検体を持ち込んで測定分析した環境測定分析が69.0%、現地に出向き検体採取などにより測定分析した環境測定調査が29.5%となっており、環境測定分析が高い比率を占めている。

2.2 相談・技術向上事業

例年どおり、国、地方自治体の行政機関及び一般企業等から、環境測定、分析技術、分析機関の紹介など各種相談に適切に対応したほか、分析精度の向上及び各種資格取得のための事業を進めた。

2.3 調査研究事業

札幌市からの凍結防止剤についての調査研究事業を受託した。

2.4 講習・研修及び検査事業

(1) 講習・研修事業

当財団では、各機関との共催により環境測定分析者の技術力向上を目指した次の講習・研修事業を実施した。ホテル会場、またはハイブリット形式による開催とした。

①第33回環境測定技術研究発表会

(一社)日本環境測定分析協会北海道支部、北海道環境計量証明事業協議会との共催により、次のとおり研究発表会を実施した。

・日 時：令和6年7月26日(金)

・場 所：札幌サンプラザ

・参加者：71名(32事業所)

(1)「臭気測定における臭気指数と悪臭物質濃度の比較事例」

(株)環境リサーチ 中谷 朋美 氏

(2)「労働安全衛生法関連法令の改正への当事業所対応について」

(株)ズコーシャ 稲毛 琢史 氏

(3)「石綿に関する法改正と石綿事前調査」

(株)コンストラクションサポート 藤井 高橋 龍之進 氏

(4)「分析初心者が行ったPT/GC/MS精度管理の過程」

(株)北開水工コンサルタント 玉津 聖 氏

②教育講座

(一社)日本環境測定分析協会北海道支部、北海道環境計量証明事業協議会との共催により、次のとおり教育講座を実施した。

・日 時：令和6年10月25日(金)

・場 所：札幌サンプラザホテル

・講 座 講義1：環境計量の仕事と関連法令について

講義2：労働安全衛生

講義3：精度良い測定のために 精度管理の基礎

講義4：精度良い測定のために サンプルングの基礎

講義5：精度良い測定のために 化学分析の基礎

講義6：騒音、振動、低周波音の影響と測定

・参 加：42名

③第46回共同分析研究会検討会

(地独) 北海道立総合研究機構から参加事業所に送られた共通試料の分析結果をもとに、次のとおり共同分析研究会検討会を実施した。

- ・日 時：令和6年11月29日(金)
- ・場 所：札幌サンプラザ
- ・試 料：模擬環境水中の亜鉛及びカドミウム
- ・参 加：41名(33事業所)

④令和6年度環境測定分析に関する研修会

(一社) 日本環境測定分析協会北海道支部、北海道環境計量証明事業協議会との共催により、次のとおり研修会を実施した。

- ・日 時：令和7年2月14日(金)
 - ・場 所：札幌サンプラザ
 - ・参加者：51名(Web含)
1. 「かつてない挑戦：アフリカの重金属汚染解決への取組み」
北海道大学大学院 獣医学研究院毒性学教室 准教授 中山 翔太氏
 2. 「各種試薬の取り扱い」
関東化学株式会社 試薬営業一部 札幌営業所 係長 森 太 紀 氏

(2) 検査事業

悪臭防止法(環境省所管)第13条に基づき、23名の臭気判定士に対して嗅覚検査を実施した。

2.5 その他

(1) 人材関係

担当業務の改善・整理及び組織改正を行い、18名体制(非常勤職員含)で業務を行った。退職による人員削減に対し、職員の採用を検討している。

(2) 新規(更新)分析機器の充実

ガスクロマト質量分析装置の更新、偏光顕微鏡の充実により、分析時間の短縮、精度管理の充実を図った。

(3) 経営健全化

紙資源の有効利用、各部署における省エネなどを継続的に行い、経費の削減に取り組んだ。

(4) 建物・施設の改善

外壁修繕工事を行い、耐水性、断熱性を原状回復し、従来之美観も取り戻した。また、各種電気設備の改修及び暖房システムの改善(ボイラーの改修、換気システムの修繕)を行い、職場・設備環境を整えた。

(5) その他

- ・SDGsの推進を図り、札幌市SDGs登録を行った。
- ・各種手当の増額、賃金のベースアップを行った。